

2021年度 保健看護学科教育課程編成・実施の方針に照らした学修への取組の適切性に関する検証

マイステップ・リエゾンポートフォリオ「学びの姿勢ふり返り（学科／研究科専攻の教育課程編成・実施の方針）」のデータを活用して検証を行った。当学科の教育課程編成・実施の方針については、本学ホームページの「教育方針」（下記のURL）を参照のこと。

<https://www.tfu.ac.jp/aboutus/policy/index.html>

「学びの姿勢(教育課程編成・実施の方針)」の結果

1. 各学年の対象数は、1年生が74名(87.1%)、2年生が53名(64.6%)、3年生が28名(32.2%)、4年生が49名(55.1%)であった。
2. 全学年を通して高得点の項目は、授業方法の種類(科目の授業方法には講義、演習、実習があることを知っている)(3.7)、協力・協働(グループワークや実習などで他メンバーや教員、指導者と良好な関係を築くことができる)(4.0)、臨地実習(臨地実習は何故行うか知っている)(3.7)であった(図2)。
3. 低得点の項目は、社会貢献(ボランティアなどを行っている)(2.4)であった。今年度は新型コロナウイルス感染対策上、社会活動自体が制限される状況にあり、1年生においては、新しい活動始める機会が失われ、大きく影響を受けたものであると思われる。(図2)。
4. 全体的に学年が上がる毎に学びの姿勢が向上する傾向にあった。授業方法の種類、協力・協働においては、高い傾向がみられ、対面授業が制限される中、学生自身が授業に関心を寄せ、意識を高めていたと推察される。また、実習等限られた対面の機会に、協力・協働の重要性について修得したと考えられる。

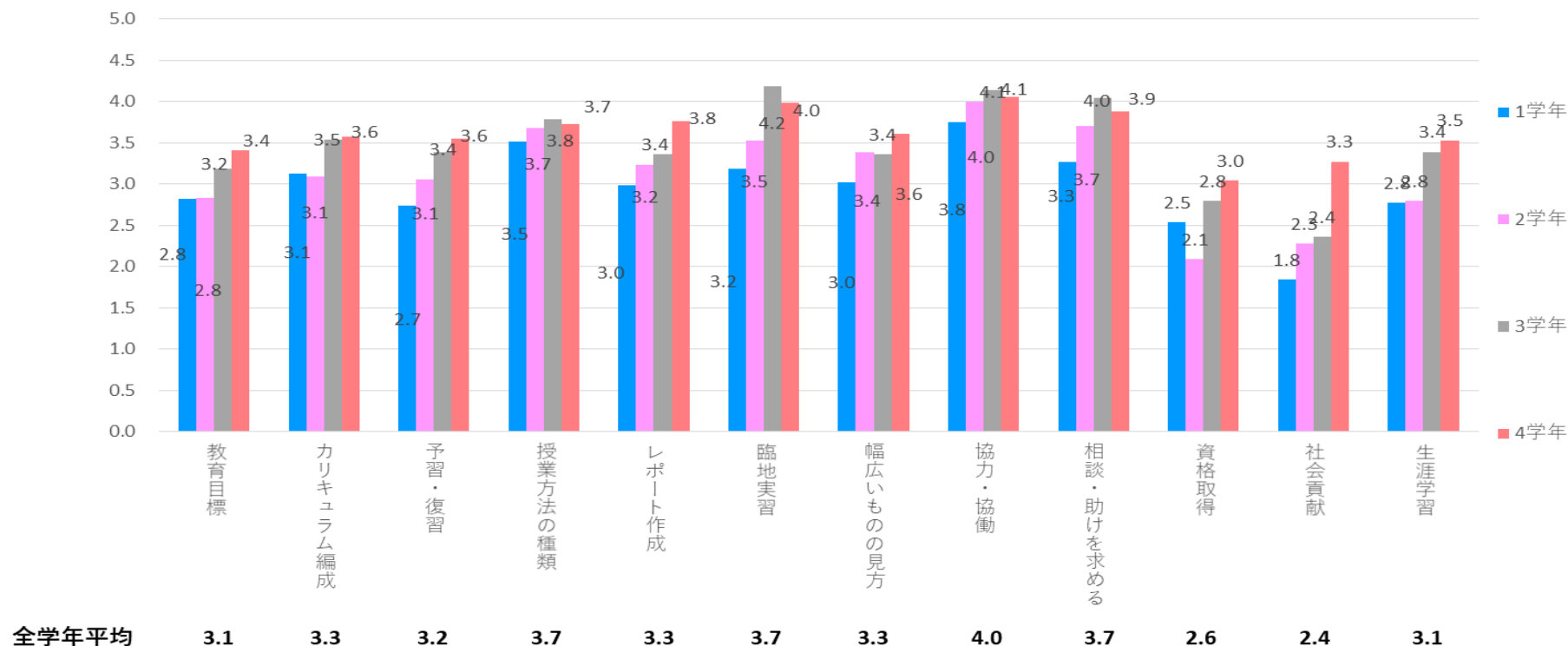


図2)学びの姿勢(教育課程編成・実施の方針)